

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9月10日(水) ① 比嘉 悟	1. 特殊詐欺等の対策について  2. カスタマーハラスメント防止条例の制定について  3. 防災連絡協議会について	<p>近年、複雑多様化している特殊詐欺。令和7年上半期、全国での認知件数は1万3,213件。被害額597億円。村民の生命・財産、暮らしを守り、村民が被害に遭わないためにも村は、傾向や対策等を村民へ周知する責任がある。これまでの対応とこれからの対策について伺う。</p> <p>北中城村内で働くものが、心身共に健康で充実した環境で就業することが出来れば、豊かな消費生活を営むことが出来ると考える。そのためには、働く人の安全及び健康を害する様々なハラスメントを未然に防ぐ必要がある。村のカスタマーハラスメント防止条例制定の考えは。</p> <p>令和7年4月25日付け、14自治会会長名、7自主防災会会長名の連名により、災害に強いまちづくり推進活動に関する嘆願書が提出されたと思うが、その後の進捗状況を伺う。</p>	村 長  村 長  村 長
9月10日(水) ② 上間 堅治	1. 島袋地区冠水対策  2. 本村企業育成の考え方	<p>5号調整池の進捗状況について伺う。</p> <p>去年の9月定例議会決算委員会の答弁では正月に家族が揃うので回答がもらえるとのことでした。今年3月の定例議会でもはっきりとした回答がもらえませんでした。今回、定例会始まる前に事務局を通して進捗状況を確認したところ、旧盆に再度家族が集まるので、そこでの結果待ちと回答がありました。村長の1期目の公約でもあります、この5年間の担当課はもちろん村長の問題解決に向けた行動と考え方を伺います。</p> <p>去った8月臨時議会の答弁で、村契約等の共同企業体の活用については、特定建設工事共同企業体のみでの活用と捉えて良いのか。</p>	村 長  村 長

令和 7 年 第 6 回 9 月 定 例 議 会 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	3. 村財政について	<p>本村の実質単年度収支が令和5年度決算で約△4億6千万円、令和6年度では△数千万円となると聞いています。大きな事業を行ってればこの収支が赤字になることは知られているが本村においては、令和5年度、6年度は大きな事業は行っていないと記憶しています。実質単年度収支の赤字が続くということは、財政運営が健全ではない状態を表しています。実質単年度収支が赤字の場合、貯金を取り崩して資金をやりくりしている状態です。これは、将来的な財政運営に影響を及ぼす可能性があるともいわれています。このような状況に至った理由とこのような状況をどの様に考えているのか伺います。</p>	村 長
9月10日(水) ③ 大城 律也	1. 東日本大震災から14年、重い教訓は生かしているか	<p>令和6年は、元旦の能登半島地震という災害で新年を迎え、阪神淡路大震災から今年で30年。東日本大震災から14年目を迎えますが、いつ起こるか分からない災害への備えの大切さを痛感している。国難といわれる南海トラフ巨大地震の発生確率が、今後30年以内に80%近くと言われている。沖縄でも台湾花蓮の地震で津波警報、カムチャツカ半島地震では津波注意報が発表された。村民の避難行動が注目された。過去の災害での教訓を踏まえて、想定される災害の傾向と対策の課題に関連して質問してまいります。</p> <p>① 高齢化が増加する災害犠牲者を減らす対策は。</p> <p>本村の東沿岸地域集落では、3人に1人が65歳以上という時代を迎えている。その過半数が75歳以上で占めている。フレイルと呼ばれる要介護認定予備軍も多く、自力で逃げ切れない高齢者が災害で真っ先に犠牲になることが立証されている。また、障がい者手帳を持つ人たちの災害犠牲者も増えている。直接死に加えて、長期に渡る避難所生活の孤独による災害関連死も増えている。自力避難が困難な要配慮者の避難支援を推進するために、個別避難計画策定が、市町村行政の義務になっている。沿岸地域の過疎化とコミュニティの希薄化で、地域の共助体制の強化が求められる。“明日は我が身”と考えての自助力の強化と、地域共助体制を築き直すまちづくりが急務であると考え。個別避難計画と地域共</p>	村 長

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	2.村発注大型工事共同企業	<p>助体制の取り組みについて、見解を伺います。</p> <p>② 地震の直接被害だけでなく、液状化への対応は。 地震大国日本では、地震に見舞われない地域はないと言われている。東日本大震災でも注目されたように、離れた地域でも地面の沈下や砂と水が噴き出し、建物が傾くなどの液状化が広がっている。液状化で最も懸念される事態が、下水道管の浮上である。能登半島地震でも1.5メートルも浮き上がっている。生活用水が流れないために、トイレが使えず入浴もできない、不衛生な環境が続き、感染症等を引き起こしている。液状化で上下水道管がどうなるか、不測の事態への対処法も検討する必要がある。見解を伺います。</p> <p>③ 震災総合避難訓練の重要性。 震災避難訓練は災害発生時に被害を最小限に抑えるために非常に重要である。訓練を通じて、避難経路の確認、避難方法の習得、初期消火や救命措置などのスキルを身につけることができる。訓練を繰り返すことで、緊急時の冷静な行動も養われ、パニックの発生を抑える効果も期待できる。東日本大震災、能登半島地震は深い爪痕を残した。大震災の教訓をいまいちど振り返り災害に強い村づくりである。行政も各自治会と共に震災意識を高めて効果的な避難訓練を早期に実施することで災害時の被害を最小限に抑える取り組みが重要である。行政が中心になって積極的に震災訓練の内容を高度化させていかなければならない。行政として『防災の日』の設定と、村内一斉の震災総合避難訓練を早急に実施する必要がある。見解を伺います。</p> <p>④ 護岸整備について。 熱田マーシリー沿岸部の護岸は、越波を減少させる構造になってない。また、破損箇所も多く深刻な状況である。護岸整備は地域の安全度を高め、背後地の人命及び財産を守るため不可欠である。令和6年6月の一般質問でも取り上げた。海岸管理者に対して、護岸整備の要請状況を伺います。</p> <p>① 村が発注する大型工事における企業体の取り組みについては共同企業体の結成や、地元</p>	村長



令和 7 年 第 6 回 9 月 定 例 議 会 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

一般質問日(令和 7 年 9 月 10 日～12 日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>4. 熱田神社（御嶽）登録文化財申請について</p>	<p>③ 街路樹の立ち枯れが目立つ、イオンモール南通り。 和仁屋側坑口、イオンモール南通り。現場を確認して、現状について、見解を伺います。</p> <p>④ 「イオンモール沖縄ライカムと本村とのネーミングライツ契約」内容について伺います。</p> <p>文化庁は有識者による調査会を組織して対象となる有形文化財の価値などを確認するため 8 月 25 日現場調査を実施する。調査の結果、文化財としての価値が認められると、登録有形文化財に指定されることになる。</p> <p>① 熱田自治会が管理するお宮が「登録有形文化財」に認定されると、文化財としての価値が公的に認められ、保存・活用の促進、地域住民の意識向上、観光資源化による地域振興といったメリットがある。建造物の活用がしやすくなる。文化庁や自治体からの支援、地域資源としての PR 効果が期待でき、文化財の確実な継承に繋がる。文部科学大臣からの指定通知後の「指定書」の交付を待ちたい。</p> <p>② 熱田自治会管理のお宮が国に「登録有形文化財」として認定されると、自治体は文化財の知名度向上、文化財保護への住民意識の醸成、観光資源としての活用、財政的支援の機会増加といった効果が得られる。認定後の行政効果について見解を伺います。</p> <p>以上、私見を申し述べました。よろしくお願いいたします。</p>	<p>村 長 教育長</p>
<p>9月10日(水) ④ 平安山 和美</p>	<p>1. 教育行政について</p>	<p>本来、児童生徒等を守り育てる立場にある教職員等が、児童生徒に対し「魂の殺人」とも呼ばれる性暴力等が行われている。なかには、教師という権威と信頼を悪用し、被害児童生徒自身が気付かないように性暴力に至ったケースなどもあります。懲戒免職等を受ける教職員等が後を絶ちません。事態は極めて深刻な状況です。そうした状況を受け、第204回国会において「教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が成立し、令和3年6月4日に公布された。</p>	<p>村 長 教育長</p>

令和 7 年 第 6 回 9 月 定 例 議 会 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

一般質問日(令和 7 年 9 月 10 日～12 日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	2. 日米地位協定について	<p>内閣府が令和4年に行った性暴力被害者約2千人を対象にした調査では、加害者で最も多かったのは教職員や先輩、クラブ指導者など学校・大学の関係者であった。</p> <p>「社会の宝」である子どもを性暴力等から守ることは、全ての大人の責任であり、社会全体に課された課題です。学校現場において被害児童生徒が、自身の性被害を打ち明けられずに苦しんでいます。</p> <p>以下の点について伺います。</p> <p>(1) 教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律について本村の見解は</p> <p>(2) 児童生徒に性暴力を行った、教職員等への懲戒処分等の本村における実態は</p> <p>(3) 学校以外での性暴力や性虐待など、学校や教育委員会で把握されているのか</p> <p>(4) 未然防止並びに再発防止のための取組みは</p> <p>(5) 性暴力に関する情報や相談を児童生徒から教職員等が受けた場合、対応についてのマニュアルのようなものはあるのか</p> <p>沖縄タイムス紙の6月10日の新聞記事より、「北中城の路上で大型犬一時徘徊」の見出し。6月8日午後1時10分ごろ、北中城村美崎の路上で、ピットブルとみられる大型犬が徘徊するのを近隣住民が目撃し通報した。4月には沖縄市では大型犬が、5月には金武町で闘犬種のピットブルなどによる咬傷事案が起きています。</p> <p>県や基地周辺の市町村の要請を受け、米軍は基地内外を問わず攻撃性の強い犬種の飼育を禁止した。にもかかわらず咬傷事案は後を絶たない。基地の外に住む米軍関係者が日米地位協定によって住民登録の対象外になっていることから、飼い犬の登録も必要ない。</p> <p>以下の点について伺います。</p> <p>(1) 米軍基地内外における闘犬を含む大型犬の登録状況について</p> <p>(2) 咬傷件数は</p> <p>(3) 対策について</p>	村 長

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9月11日(木) ⑤伊集 守吉	1. 米軍用機からの爆音被害防止対策について	<p>沖縄県には、日本にある米軍専用施設の約70パーセントが集中しており、土地の利用制限、騒音、環境汚染、事件、事故等様々な問題を引き起こしています。特に住宅密集地の中南部に嘉手納基地、普天間基地を抱え、日頃より県民は基地からの騒音に悩まされており、北中城村においても低空で飛行する戦闘機、オスプレイの爆音の中での生活を強いられています。また、嘉手納基地からの戦闘機訓練はけたたましい爆音で北中城村上空を何度も旋回していきます。その爆音の中での生活を少しでも改善する対策として防音工事が必要だと考えます。そこで次のとおり伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 北中城村で防音工事が行われている地区は何ヶ所あるか</li> <li>② 北中城村においても全域に防音工事が必要と考えるがどうか。</li> <li>③ 北中城村の防音対策についてこれまで沖縄防衛局と協議したことがあるか。</li> </ul>	村 長
	2. キャンプ瑞慶覧返還における跡地利用について	<p>キャンプ瑞慶覧における住宅統合で、2024年度以降、ロウワープラザ住宅地区と喜舎場住宅地区の一部返還が予定されています。ロウワープラザ地区においては現在、返還跡地利用のため土地区画整理組合設立準備会で組合設立に向けた作業を進めています。今回は喜舎場住宅地区の一部返還について次のとおり伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 喜舎場住宅地区の一部返還条件について</li> <li>② 一部返還面積について</li> <li>③ 返還後の跡地利用計画は</li> </ul>	村 長
	3. 生活道路としての私道と里道について	<p>村内には昔から村民が生活道路として利用している私道と里道が多くあります。それは地域住民になくてはならない重要な生活道路です。特に私道については村道と認定されていない箇所が多く見受けられます。今後災害などさまざまな問題も起きる可能性もあり、村民が利用している生活道路について次のとおり伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 私道と里道を活用して村道として認定しているところは約何ヶ所あるか。</li> </ul>	村 長

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9月11日(木) ⑥ 喜屋武 功	1. 学力向上への取組みと環境変化(ソンビタバコ等)について	② 生活道路で災害が起きた場合の村の対応は ③ 村内里道の面積について 令和7年4月14~17日に小学校6年生と中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表され、沖縄県は小中学校共にすべての教科で全国平均を下回る結果であった。北中城村の子ども達の学力テスト・学習状況はどうか。村が取組んでいる学力向上への取組みがどういう結果に繋がっているか伺う。また、違法薬物を含む笑気麻酔いわゆるソンビタバコが県内で流通し若い世代の逮捕者が相次いでいる。その危険性について学校現場でも注意喚起が必要である。	村長 教育長
	2. 北中城村観光協会の存在意義について	令和6年度から村長が会長を務めている観光協会であるが、組織の改革、改善をどう図り、どのような結果、成果に繋がっているのか。また、北中城村の厳しい財政状況と中城村との共同のまちづくりの取組み等を考えた時に両村で一つの観光協会として進むべきと考える。	村長
	3. 村内企業優先発注の見える化を図るべき	北中城村には多種多様な企業が存在するが、村当局がどう村内企業と向き合い、各担当課が購入する物品や発注する事業にどう目を向けているか伺う。村内企業発注率を公表し見える化することで村内企業全体の育成強化と信頼関係を築いていけると考える。	村長
	4. 公園駐車場に関わる行き過ぎた対応について	村内には22の公園があるが、駐車場のある公園の数と駐車場の管理状況について、特には公園利用者ではない目的外の公園駐車場の使用があった場合の対応について伺う。	村長
	5. 村荻道登又線整備事業の進捗状況と災害対応	村道荻道登又線法面对策事業の進捗状況について伺う。また、村内で災害等が発生した場合に北中城村商工会と災害協定を結んでいるが、災害が発生し協定に基づいた対応の流れについてと実績はどうなっているか伺う。	村長
	6. 中北消防におけるハラスメント調査の結果は	3月定例議会に中城北中城消防本部でパワハラ事案はないかということで一般質問した。そこで、中城北中城消防本部の管理者、副管理者、両村長部局から選定して調査する	村長

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9月11日(木) ⑦ 屋良 朝春	1. 環境整備、感染対策について  2. 小規模企業振興基本条例の制定について  3. クリーンセンター整備について	と答弁したが、その後どうなったか。 県内の新型コロナ感染は7月頃から8月の中旬にかけて増加傾向で、新たに新変異株ユニバスの感染が再び広がりつつあります。村内のこども園、認可園、小中学校の感染対策について伺います。  村のホームページでパブリックコメントを募集していますが、条例制定の時期と今後の計画内容について伺う。  クリーンセンター整備の進捗状況、将来の費用対効果について伺う。	村長 教育長  村長  村長
9月11日(木) ⑧ 比嘉 正志	1. 中北消防の早期退職の流れは治まったか	今年の3月議会一般質問でも取り上げましたが、その後の中城北中城消防組合（以下、中北消防）の現状が気になるところです。村民の安全安心な暮らしの為には消防職員の活躍は必要不可欠であります。しかし近年の消防職員の早期退職者の多さは異常であると言わざるをえません。中北消防の副管理者である村長も十分に理解をしていることと思っております。そこで以下の質問を致します。 ① 中北消防の令和6年度の退職者の数は（定年退職者と早期退職者の数は） ② 中北消防の今年度の退職者の数は（定年退職者と、既に早期退職を希望している職員がいるのか） ③ 北中城村役場の職員数は（会計年度任用職員も含む） ④ 北中城村役場の令和6年度の退職者の数は（定年退職者と早期退職者の数は） ⑤ 直近過去に中北消防でハラスメント事案があったと聞いているが、その時の結果と、その後の対応は。 ⑥ 上記の件で中北消防の全職員へ通知はどのようにされたのか。また、消防議会へも報告はされたのか。いつ、どのように通知されたのか。（議事録の文言があるのか）	村長

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>2. 村内公立小中学校周辺の環境美化について</p> <p>3. 立村80周年を夏季巡回ラジオ体操で盛り上げよう</p>	<p>⑦ 上記の件で、消防議会に報告がされていた場合、その後の消防議会の動きはあったのか。本村公立小中学校の父母教師会が衰退し数年が経過しようとしています、その現状の結果、学校周辺の環境美化にも影響が及んで来ているように感じられます。特に、中学校の裏手付近の農道ですが、側溝が雑草で確認しづらくなってきているようです。車両の脱輪の恐れもあり、村民の身体及び財産に悪影響を及ぼしかねません。学校周辺の環境美化については、児童生徒の安全な登下校のために確実に取り組まなければならないと考えます。学校で取り組めないのであれば、役場で対応をせざるを得ないと思いますが如何か。</p> <p>今年の長く暑い夏が終わり最近では秋の雰囲気は漂い、いつもどおりに時が過ぎていくところですが、今年の夏にこれまでには無いイベントが行われました。</p> <p>それはイオンモール沖縄ライカムの屋上駐車場で夏休みラジオ体操が行われた事です。これはライカム地区で有志の方がイオンモールと交渉し開店前の駐車場でラジオ体操を行なうという画期的な試みを実現していました。素晴らしい行動力だと思いますし、それに応えてくれた企業についても感謝の念に堪えません。このような動きがライカム自治会発足へ繋がっていくのではないかと期待しているところです。</p> <p>そこで来年は立村80周年を迎えるにあたり、イオンモール沖縄ライカムの駐車場で多くの村民が集い、夏季巡回ラジオ体操を行なってみては如何でしょうか。全国の皆様へ北中城村立村80周年をアピールする良い機会になると思われます。</p>	<p>村長 教育長</p> <p>村長</p>

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>9月12日(金) ⑨ 比嘉 義弘</p>	<p>1. 火葬場建設について</p> <p>2. 「比嘉太郎」の劇について</p>	<p>沖縄市、宜野湾市、北谷町、そして北中城村の4自治体で計画している火葬場の建設について日々がある程度経過しているので事業計画は着実に進んでいると考えるが、その進捗状況の説明を求める</p> <p>(イ) 4自治体での具体的な会合はこれまでに何回持っているか                  (ロ) 火葬場の土地購入は必要な分実現出来たのか                  (ハ) その場所の近くに民間の火葬場も現在あるが問題はないか                  (ニ) その面積はどれくらいか規模をお願いします                  (ホ) 4自治体が納得いく計画になっているか                  (ヘ) 地域の皆さんからの反対の声はあるか                  (ト) 完成し活用できる見通しは何年先になるか</p> <p>「比嘉太郎」の村民劇の進捗状況について                  以前(2001年)北中城文化協会(会長 新垣洋子)が「護佐丸の星」の劇を上演したが、大変好評だった。後に民間のテレビが全県的に2回放映した。その劇の上演によって護佐丸についても村民の認識や関心が深くなった。今回の「比嘉太郎」の劇は島袋区民だけでなく村民や県民に対して大きな影響を与えること間違いないと信じる。同時に戦争に対する捉え方も違ってくると思う。下記の通り質問を順次して行く。</p> <p>(イ)「護佐丸の星」は記憶するところ1000万円村から補助をしてもらい、そして文化協会自身も金策に力を入れながら実現した。今回の「比嘉太郎」の劇の村からの補助はいくらか                  (ロ)ハワイで直接島袋出身の比嘉武二郎さんに以前会いました。その時武二郎さんが心配していたのは村出身のハワイの現地の皆さんが北中城村に対する意識や想いが希薄になりつつあるとのことでした。今回、村長はハワイを訪問しましたがその成果は。                  (ハ)北中城村は「平和で活力ある田園文化村」と言われているが「比嘉太郎」の村民劇は戦争を否定し平和に対する意識を一層深める機会になると思うが如何ですか</p>	<p>村 長</p> <p>村 長</p>

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>3. 牡蠣の養殖事業の計画について</p>	<p>(二) 念のため今回の村民劇に否定する村民もいますか</p> <p>牡蠣の生産は日本では宮城県と広島県が中心で有名であるが南国の沖縄県で牡蠣の養殖を事業にと考えたのはどんな意図があったか順次質問をして行く。</p> <p>(イ) 牡蠣養殖に力を入れている有名な国はご承知か</p> <p>(ロ) 日本の広島県と宮城県とその国は相互扶助の精神で助け合っていますが、そのことについては知っていますか</p> <p>(ハ) その事業には村のシルバー人材センターの人材も活用できると思いますがどうでしょうか</p> <p>(ニ) アーサの事業も成功していると思うがそれをヒントに考え事業を進めるとよいと思うが如何か</p> <p>(ホ) しおさい市場は残念ながら継続できなかったが今回の事業は自信ありますか</p>	<p>村長</p>

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>9月12日(金) ⑩川上 龍太</p>	<p>1. 本村の財政マネジメント</p>	<p>「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」と、自治体・行政の役割について地方自治法第1条の2で定められています。具体的には、住民が安全に安心して暮らすことができるまちづくり、地域産業の活性化、地域課題の解決などが自治体の使命だといえるでしょう。その為には、地域住民の税金を効果的に活用した予算編成と執行が必要であります。</p> <p>自治体の行政サービスの財源は、住民や法人が納める地方税と、国から交付される地方交付税や国庫支出金等で構成されています。ゆえに、自治体は財政運営を行っていく上で住民の理解と協力を得て、住民の皆さんが納得するように税金を有効に活用する必要があります。自治体が予算編成をする目的は、住民から徴収した税金を住民の為に適切に運用・管理する事だと言えます。ただ、現在多くの自治体において財政が厳しい状態が続いており、少子高齢化による社会補償の増加や公共施設の老朽化による維持管理・更新費用の増大により歳出は増加傾向です。それゆえ、自治体において予算の削減が課題となっています。各自治体において、どの事業にどれだけの予算を分配するかは優先順位を決め、限られた財源の中で効率的な予算配分を行い、適正な予算編成に導いていきます。この適正な予算編成の為に査定が行われる等、財政マネジメントが大切になっていきます。</p> <p>財政マネジメントとは、地方公共団体等が保有する財政資源を効果的・計画的に管理・運用し、健全な財政状態を維持・改善しつつ、ビジョンや目標達成を目指す一連の経営管理活動を指します。</p> <p>本村の財政については今年度当初から予算が厳しいと村長自ら発言し、各課の事業においても削減がみられます。そこで、なぜ本村は予算が厳しいのか、本村の財政マネジメントの内容について伺います。</p> <p>①予算編成の査定方式の種類は ②予算配分の優先順位の決め方は ③国や地方交付金の獲得方法は ④地域特産品や観光資源を活用した収入増の考えは ⑤公共施設の有効活用や公共資産の売却等は ⑥村長のビジョンや目標は</p>	<p>村長</p>

令和7年第6回9月定例議会一般質問通告一覧表

一般質問日(令和7年9月10日~12日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>9月12日(金) ⑪ 喜屋武 すま子</p>	<p>1. 北中城村「村民平和の日」の制定について</p> <p>2. 中央公民館に新聞を置いてほしい</p>	<p>沖縄県は、今年戦争終結から80周年を迎え平和の尊さを県内マスコミや各市町村及びNPO等が企画をし、二度と沖縄を戦場にしない、させないの取組が行われている。</p> <p>さて、私達は脅威となる核戦争を食い止めるためにどう行動をしなければいいのか、北中城村では、1982年5月3日地球上からの核廃絶を求め、「北中城村非核宣言」を行った。また、「北中城村平和を守る村民の会」が1983年5月3日に施行され、平和活動が行われてきたが、昨今の世界情勢は、平和構築に遠い緊迫した政治状況が続いている。</p> <p>悲惨な沖縄戦の体験者は、平和への思いを強く訴えている。戦争をしない、させないためにも沖縄戦・世界の紛争を通して考えなくてはならない。そのためには村民が結束し、村民平和の日を定め、より強いメッセージ性を以て行動する必要がある。以前私は村民平和の日を9月7日に制定してはどうかと提案したが、世界は核戦争へと向かいつつあることを踏まえ、1982年5月3日の北中城村非核宣言を踏まえ、5月3日の憲法の理念を再度確認し「北中城村平和の日」と定めては、どうか提案したい。</p> <p>今や情報化社会である。スマートフォンの普及等で新聞を手取る人口が減りつつある。新聞は、社会の情報を的確に正確に伝える道具である。</p> <p>村中央公民館は、学習の場、交流の場であり社会教育の施設である。学習等供用施設にふさわしくせめて県内の新聞を置いてほしいが、見解を伺う。</p>	<p>村 長</p> <p>村 長 教育長</p>